

企画展

メソポタミア文明を探る

—イラク古代文化研究所の発掘成果 (2) —



ミニ講座開催

「メソポタミア文明を学ぼう！」

—調査員が語るイラクでの発掘成果—

(詳細は裏面へ)

参加費：無料 事前申込不要

2017年9月19日(火)～12月22日(金)

10:00～16:00 入場無料

閉室：土・日・祝日

※ただし、10/8(日)、11/3(祝・金)はオープンします。

場所：国士館大学イラク古代文化研究所展示室

2016年3月をもちまして、イラク古代文化研究所は創設40周年の節目を迎えることができました。

これを記念して、昨年の企画展より本研究所が40年に渡って携わってきたメソポタミア地域における研究成果を紹介してきました。第1弾として、「ローマ時代の織物を中心とした「イラク西南沙漠アッターール洞窟出土の古代織物展」、第2弾として、新石器時代から古バビロニア時代の遺跡を紹介した「メソポタミア文明を探る - イラク古代文化研究所の発掘成果(1) -」を開催してきました。そして、今回はその第3弾として、アッシリア時代を中心としたイラクのエスキ・モースル遺跡群、ローマ・ヘレニズム時代を中心としたイラク西南沙漠のアッターール洞窟・ヨルダンのウム・カイス遺跡を紹介します。展示では、エスキ・モースル遺跡群のテル・ジガーンから出土した土器片やアッターール洞窟から出土した織物、ウム・カイス遺跡の西円形劇場の3D模型を展示いたします。また、特別にイラクのニムルド遺跡から出土した織物を展示いたします。



ニムルド遺跡出土の織物



アッターール洞窟 (イラク)



ウム・カイス遺跡 (ヨルダン)

「メソポタミア文明を学ぼう！」 - 調査員が語るイラクでの発掘成果 - ミニ講座開催

参加費：無料 事前申込不要

【第5回】 2017年9月28日(木) 14:00~15:30 先着40名

「エスキ・モースルからみたアッシリアの興亡(前2500年~前612年)」

小口 裕通(国士舘大学イラク古代文化研究所 教授) (会場：地域交流文化センター1F 講義室2)

【第6回】 2017年10月13日(金) 14:00~15:30 先着40名

「ヘレニズムからイスラムまでの建築」

岡田 保良(国士舘大学イラク古代文化研究所 所長) (会場：地域交流文化センター1F 講義室2)

40周年記念講演会「メソポタミア文明を探る」(アッターールからウム・カイスへ) ※国士舘100年祭開催中

2017年11月3日(金) 13:00~16:00 (会場：国士舘大学梅ヶ丘校舎34号館B304)

星 和彦 (前橋工科大学 学長・元調査隊員)
小口 裕通 (国士舘大学イラク古代文化研究所 教授)
松本 健 (国士舘大学イラク古代文化研究所 教授)

国士舘大学イラク古代文化研究所展示室

tel : 03-5451-1926 fax : 03-5451-1927

〒154-0022
世田谷区梅丘2-8-17
地域交流文化センター2F

担当：相川

<http://www.kokushikan.ac.jp/research/ICSAI/>



交通案内

電車

- ・小田急線梅ヶ丘駅下車 徒歩13分
- ・東急世田谷線松陰神社前駅又は世田谷駅下車 徒歩10分

バス

- ・小田急線梅ヶ丘駅北口ロータリー乗り場(乗車時間約3分)等13「等々力操車所行」バスで「国士舘大学」下車すぐ
- ・JR 渋谷駅西口バスターミナル30番乗り場(乗車時間約30分) 渋52「世田谷区民会館行」バスで終点下車、徒歩7分

